



## 2019年1月期 決算説明資料

**ベステラ株式会社**  
東証第一部(証券コード:1433)

# 決算のポイント(連結)

売上高

**4,927**百万円

- 売上高は対前年7.3%増(前年個別対比)
- 6期連続増収を達成

営業利益

**497**百万円

- 売上総利益の増加が人件費等の増加を上回り、過去最高益を達成
- 営業利益は、高利益率工事の貢献により、対前年31.9%増(前年個別対比)

受注残高

**1,021**百万円

- 期末時点で一時的に受注残高が減少するも、受注見込の案件が多く控えており、引き合いの状況は堅調に推移

ROE

- ROEは、大幅な増益により23.8%
- 自己資本比率は57.2%

業績予想

- 堅調な受注見込案件の状況を踏まえ、売上高15.7%増、営業利益5.5%増、配当16円(前年比+1円)の増配予想

※2019年1月期 第1四半期より連結決算へ移行しております。

# 損益計算書: 2019年1月期

売上高は6期連続増収となりました。高利益率工事の貢献により、売上総利益、営業利益、経常利益、当期純利益の全ての利益項目において過去最高益となりました。

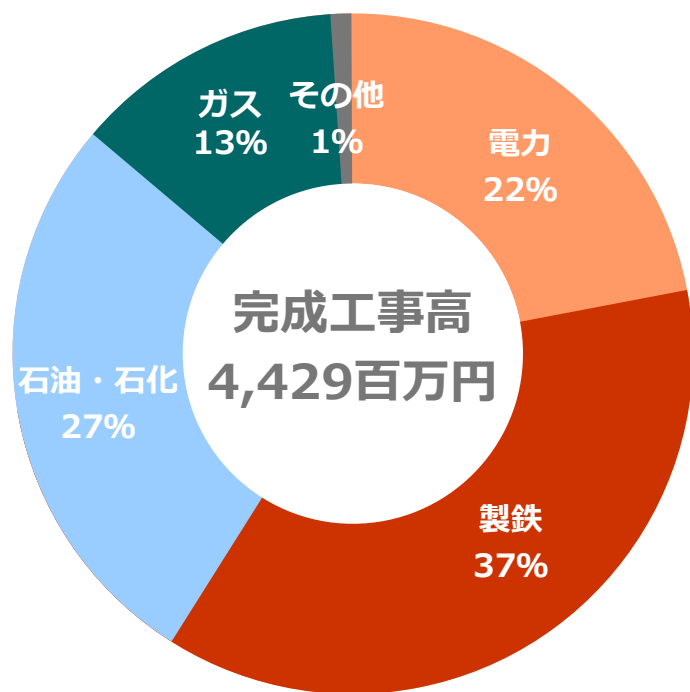
単位: 百万円

	2019年1月期 (連結)	2019年1月期 (個別)	対売上高 比率 (個別)	前年同期 (個別)	前年同期比増 減額 (個別)	前年同期比増 減率 (個別)
売上高	<b>4,927</b>	4,826	—	4,496	330	7.3%
売上総利益	<b>1,054</b>	1,041	<b>21.6%</b>	904	137	<b>15.2%</b>
販売費及び 一般管理費	556	532	11.0%	518	14	2.8%
営業利益	<b>497</b>	509	10.5%	386	123	<b>31.9%</b>
経常利益	<b>495</b>	506	10.5%	373	133	<b>35.6%</b>
親会社株主に帰属 する当期純利益	<b>621</b>	632	13.1%	263	368	<b>139.8%</b>

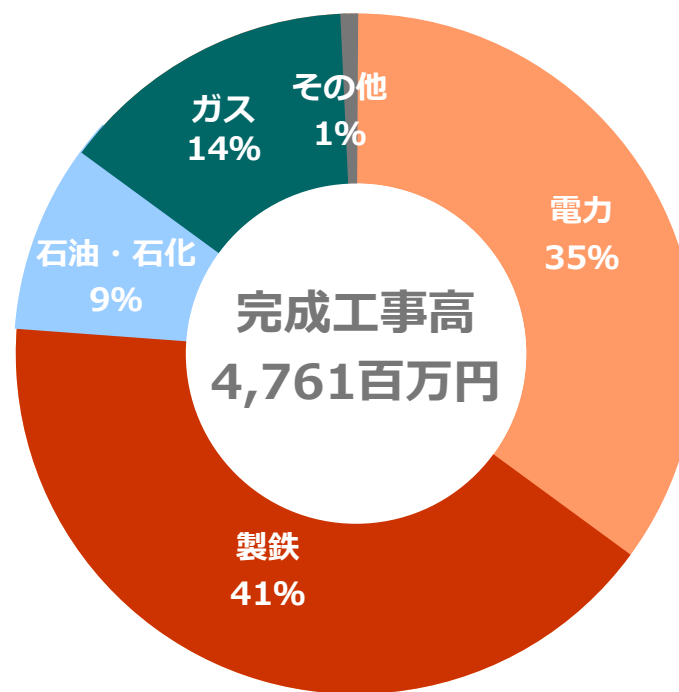
※固定資産（本社ビル）を譲渡し、388百万円の譲渡益を特別利益に計上しております。

# 業界別 完成工事高構成比率

2019年1月期は、電力業界の比率が増え、完成工事高の伸びを牽引しました。電力業界は、効率的な設備への見直しが進んでおり、当社の中期経営計画においても注力する業界であります。



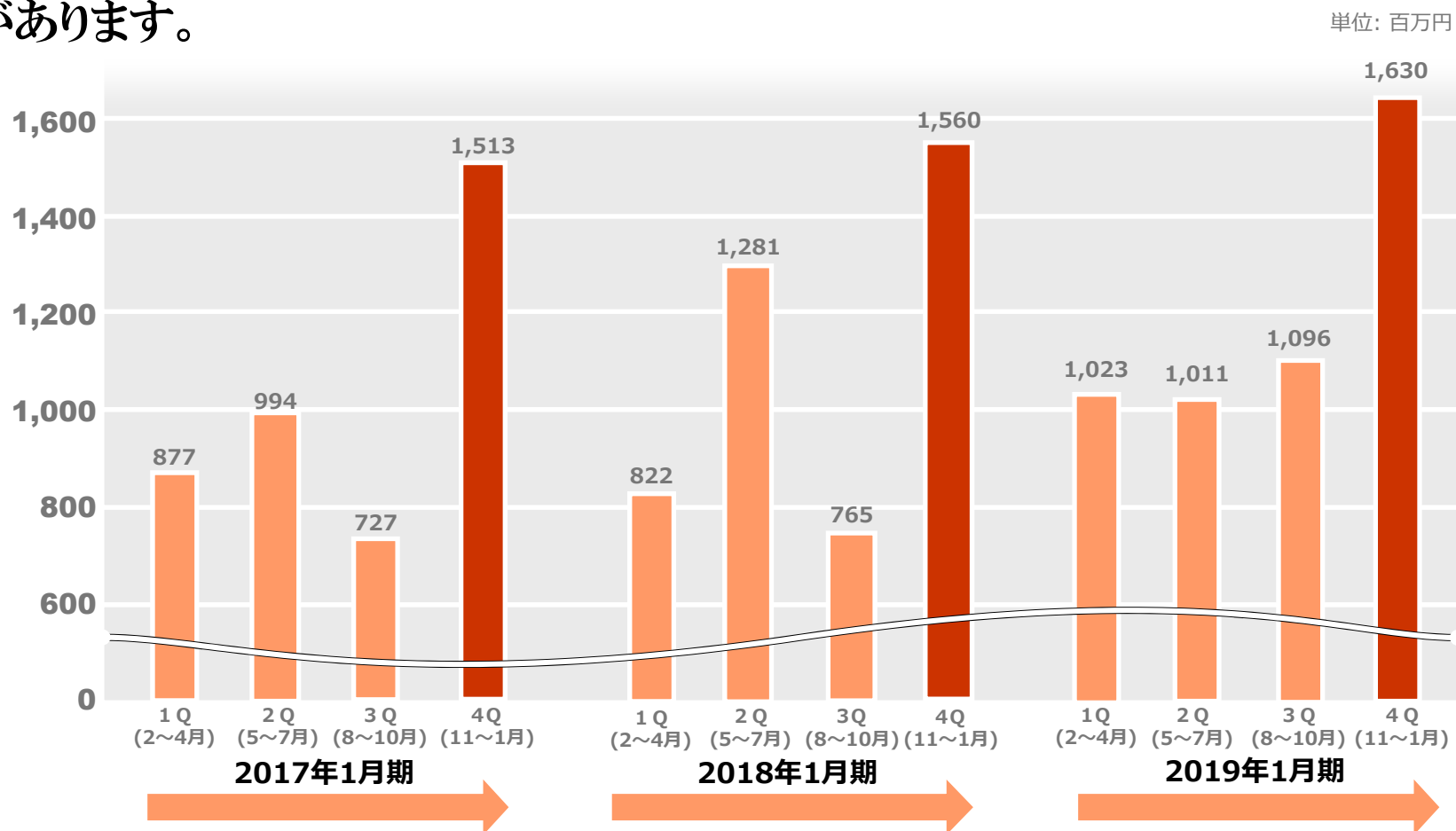
2018年1月期（通期）



2019年1月期（通期）

# 完成工事高の推移について

当社の完成工事高は、顧客(施主)の設備投資計画に応じた季節性があります。当社においては、第4四半期会計期間に計上される割合が高くなる傾向があります。



# 販売費及び一般管理費：2019年1月期

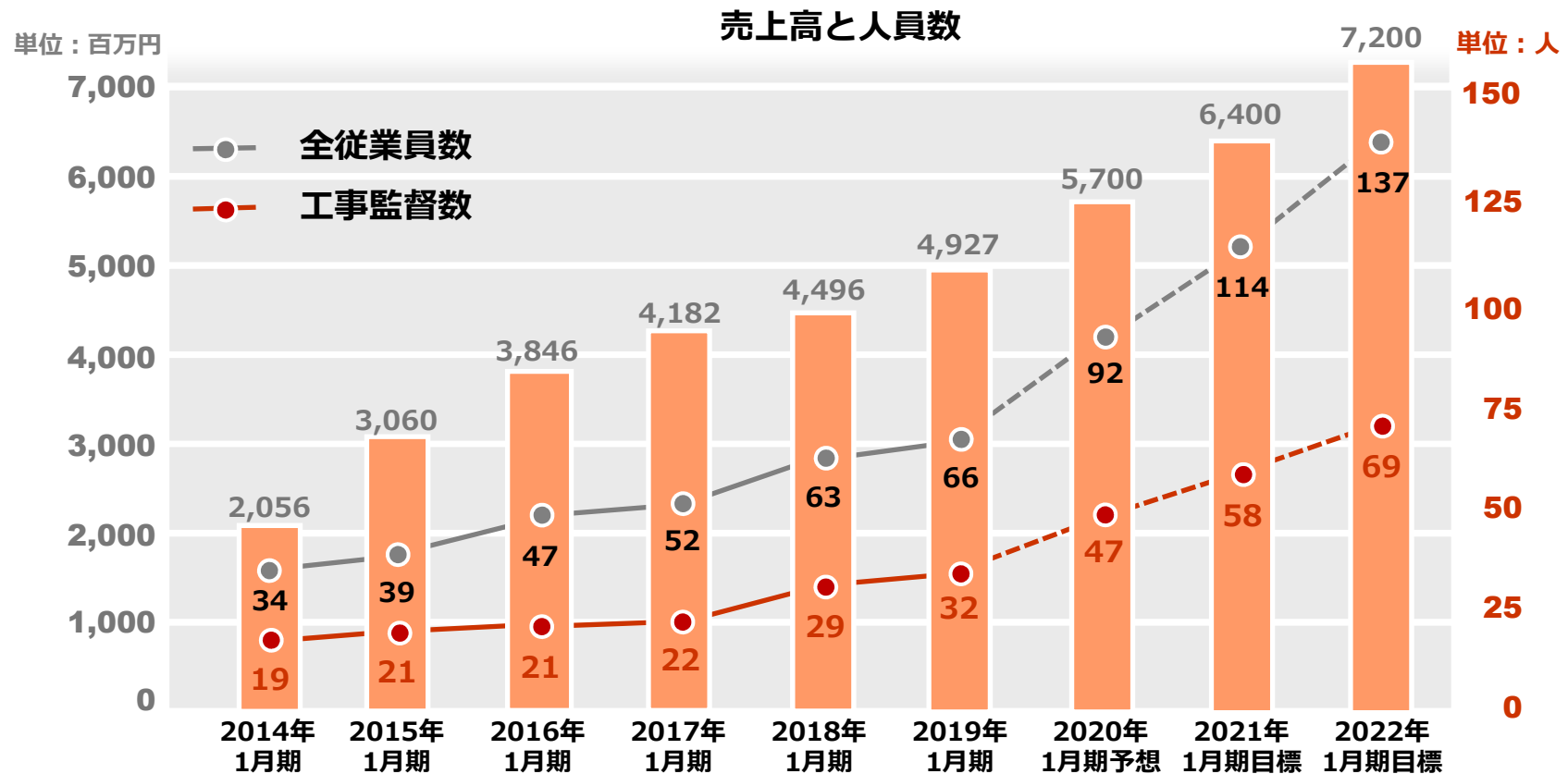
東証一部への上場市場変更費用が減少したものの、資産効率化による本社移転のための移転費用・賃貸費用が増加しており、販管費は微増となっております。

単位：百万円

	2019年1月期 (連結)	2019年1月期 (個別)	前年同期 (個別)	前年同期比 増減額 (個別)	前年同期比 増減率 (個別)	主な増減要因
人件費	280	268	271	▲2	▲1.0%	工事監督以外の人員
研究開発費	9	9	8	1	13.1%	ロボット開発
支払手数料 支払報酬	52	51	66	▲14	▲21.7%	上場市場変更費用の減少
採用費	12	12	15	▲3	▲21.5%	広告媒体、紹介手数料等の減少
広告宣伝費	17	17	13	4	33.7%	展示会実施
その他	182	172	142	29	20.5%	本社移転・賃貸費用
合計	556	532	518	14	2.8%	

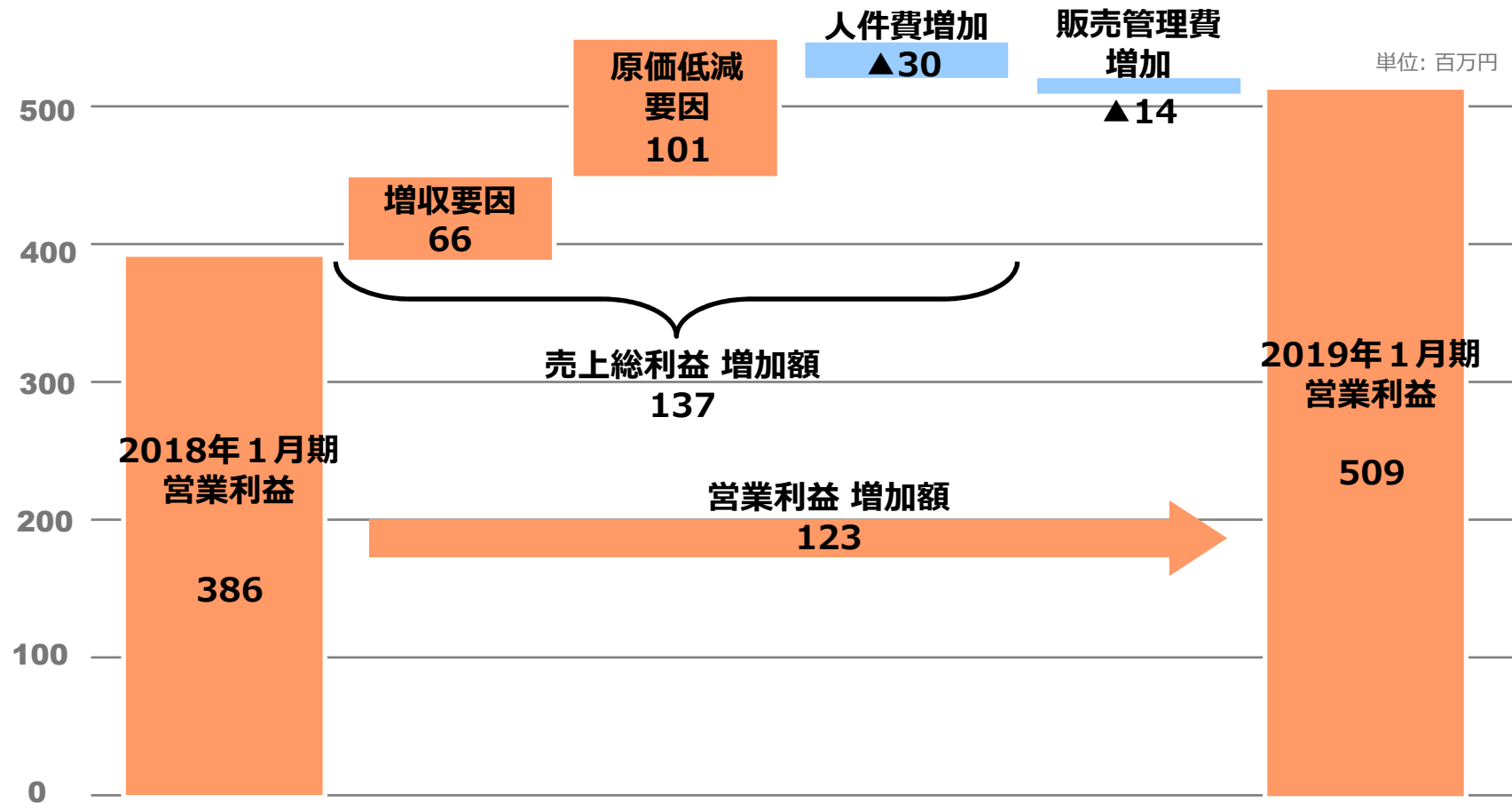
# 人員計画の進捗

中期経営計画の人員計画に基づき、2019年1月期は即戦力となる経験者の採用に注力したため、**工事監督数は、前年同期比3名増の32名**となりました。



# 営業利益の増減要因分析：個別対比

高利益率工事の貢献により、売上総利益の増加が人件費および販管費の増加を上回り、営業利益は大幅な増益となっております。





# 貸借対照表：2019年1月期

単位：百万円

	2019年1月期 (連結)	2019年1月期 (個別)	前事業年度末 (個別)	増減額 (個別)	主な増減要因
流動資産	4,112	4,073	3,521	551	固定資産の譲渡および債権の回収による現金預金の増加によるもの
(うち現金預金)	(2,032)	(2,006)	(752)	1,253	
固定資産	451	476	383	92	投資有価証券および子会社株式取得によるもの
流動負債	1,893	1,876	1,527	349	工事量増加による未払金の増加によるもの
固定負債	56	48	45	3	退職給付引当金の増加によるもの
純資産	2,614	2,623	2,332	291	当期純利益の増加によるもの
総資産	4,564	4,549	3,905	644	

# キャッシュ・フロー(CF)計算書：2019年1月期

	2019年1月期 (連結)	前事業年度 (個別)	増減額	主な増減要因
税引前当期純利益	883	373	509	本社売却益を含む
未成工事支出金 (▲は増加)	▲77	375	▲452	未成工事増加および債権 回収期間短縮によるもの
未成工事受入金 (▲は減少)	18	▲141	159	
売上債権 (▲は増加)	799	▲73	872	売上債権の回収によるもの
仕入債務 (▲は減少)	536	▲122	658	未成工事増加によるもの
その他	▲406	▲42	▲363	
営業活動によるCF	1,753	369	1,384	
投資活動によるCF	298	▲4	302	
財務活動によるCF	▲777	▲314	▲462	借入金の減少によるもの
現金増減額	1,274	50	1,224	
期末の現金残高	2,031	752	1,278	

単位: 百万円

# 受注状況：2019年1月期

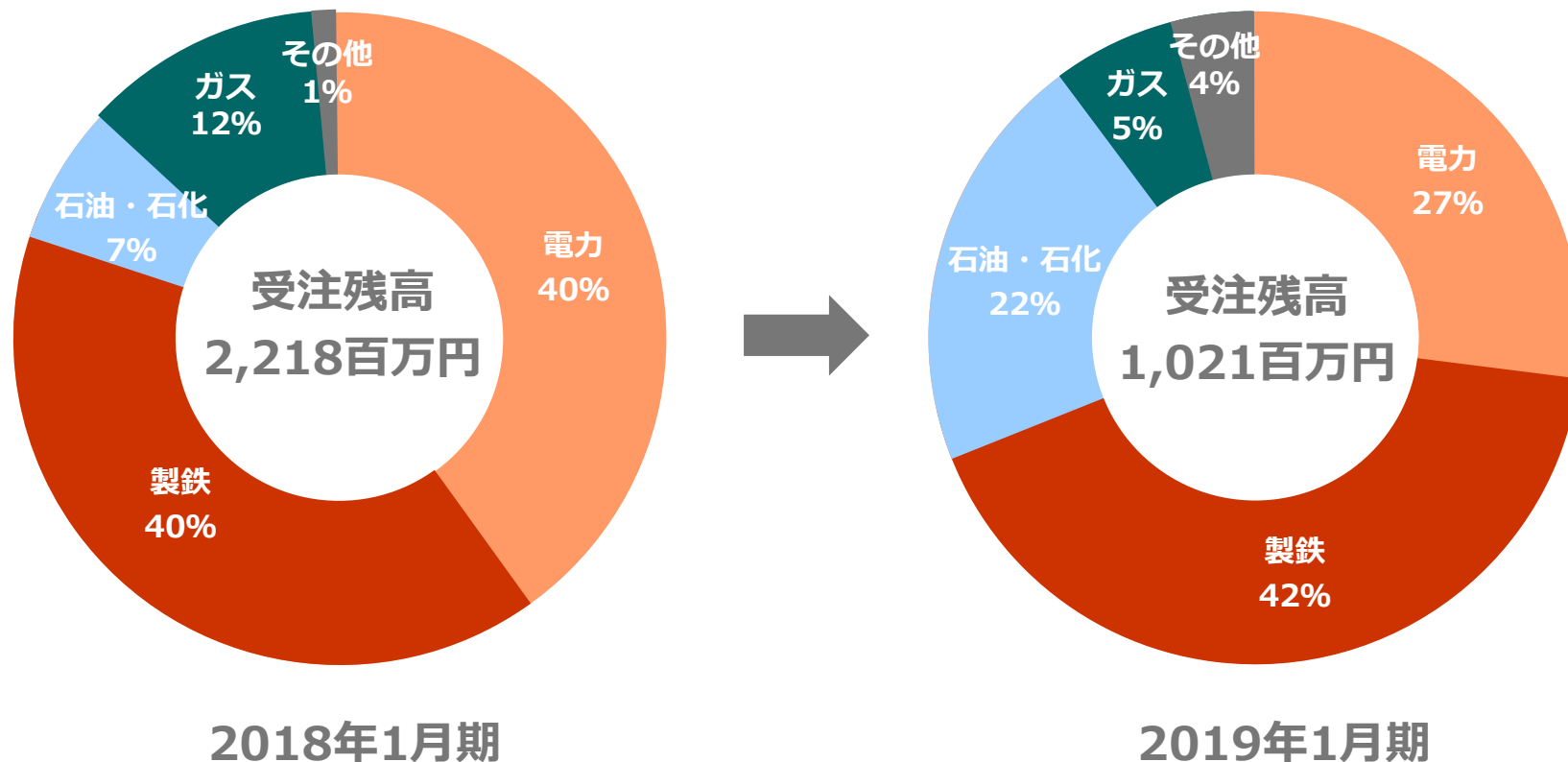
大型工事の完成があり、期末時点で一時的に受注残高が減少しております。受注見込の案件が多く控えており、引き合いの状況は堅調に推移しております。

単位：百万円

	2019年1月期	前年同期	増減額	増減率
期首繰越工事高	2,218	2,303	▲85	▲3.7%
受注工事高	3,565	4,344	▲779	▲17.9%
完成工事高	4,761	4,429	331	7.5%
期末繰越工事高 (受注残高)	1,021	2,218	▲1,196	▲53.9%

# 業界別 受注残高構成比率

各業界から多様な案件の受注をいただいております。電力と製鉄の比率は今後も高くなるものと予想されます。



## 業績予想 (2020年1月期)

2020年1月期の業績予想は、堅調な受注見込案件の状況を踏まえ、売上高15.7%増、営業利益5.5%増、配当16円(前年比+1円)の増配予想となっております。

単位: 百万円

	業績予想 2020年1月期	実績 2019年1月期	増加率
売上高	5,700	4,927	15.7%
営業利益	525	497	5.5%
経常利益	521	495	5.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	367	621	▲41.0%
1株当たり 当期純利益	44円	75円	—
1株当たり配当金	16円	15円	—
配当性向	35.9%	19.9%	—

# 本資料についてのご留意事項

---

- 本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている将来の予測等は現時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競合状況等、多くの不確実な要因を受けます。
- 本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願いいたします。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。
- 本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。

**ベステラ株式会社**



Copyright © BESTERRA CO., LTD All rights reserved.

